

- 7.それは栄養にもならず、飢えも癒せない。
- 8.(外の或る者たちの)顔は、その日歓喜し、
- 9.かれらは努力して心充ち足り、
- 10.高い樂園の中に置き、
- 11.そこで、虚しい(言葉)を聞かない。
- 12.そこには、流れる泉があり、
- 13.高く上げられた(位階の)寢床があり、
- 14.大杯が備えられ、
- 15.褥は数列に並べられ、
- 16.敷物が敷きつめられている。
- 17.かれらは駱駝に就いて、如何に創られたかを考えて・ないのか。
- 18.また天に就いて、如何に高く掲げられたか、
- 19.また山々に就いて、如何に据え付けられているか、
- 20.また大地に就いて、如何に広げられているかを。
- 21.だからあなたは訓戒しなさい。本当にあなたは一人の訓戒者に外ならない。
- 22.かれらのための、支配者ではない。
- 23.だが誰でも、背き去って信仰を拒否するならば、
- 24.アッラーは最大の懲罰でかれらを罰される。
- 25.本当にわれの許に、かれらは婦り来るのである。
- 26.かれらの清算は、本当にわれの任である。

## SURA 89 暁章〔アル・ファジュール〕

慈悲あまねく慈愛深きアッラーの御名において。

- 1.暁において、
- 2.10夜において、
- 3.偶数と奇数において、
- 4.去り行く夜において(誓う)。
- 5.本当にこの中には、分別ある者への誓いがあるではないか。
- 6.あなたはアッラーが、如何にアード(の民)を処分されたかを考えないのか、

- 7.円柱の並び立つイラム（の都）のことを、
- 8.これに類するものは、その国において造られたことはなかったではないか。
- 9.また谷間の岩に彫り込んだサムード（の民）や、
- 10.杭のぬしフィルアウン（のことを考えないのか）。
- 11.これらは（凡て）、その国において法を越えた者たちで、
- 12.その地に邪悪を増長させた。
- 13.それであなたの主は、懲罰の鞭をかれらに浴びせかけられた。
- 14.本当にあなたの主は監視の塔におられる。
- 15.さて人間は主が御試・のため、寛大にされ恵・を授けられると、かれは、「主は、わたしに寛大であります。」と言う。
- 16.だがかれを試・、御恵・を減らされる時は、「主はわたしを、軽視なさいます。」と言う。
- 17.断じていけない。いや、あなたがたは孤児を大切にしない。
- 18.また貧者を養うために、粟いに励まさない。
- 19.しかも遺産を取り上げ、強欲を欲しい尽にする。
- 20.またあなたがたは、法外な愛で財産を愛する。
- 21.断じていけない。大地が粉々に碎かれる時、
- 22.主は、列また列の天使（を従え）、来臨なされる。
- 23.また地獄は、その日（目の当たりに）運ばれ、その日人間は反省するであろう。だが反省したとて、どうしてかれのためになろうか。
- 24.かれは、「ああ、わたしの（将来の）生命のために、（善行を）貯えていたならば。」と言う。
- 25.それでその日、誰もなし得ない程の懲罰を加えられ、
- 26.また誰も拘束し得ない程に束縛なされる。
- 27.（善行を積んだ魂に言われるであろう。）おお、安心、大悟している魂よ、
- 28.あなたの主に返れ、歡喜し御満悦にあずかつて。
- 29.あなたは、わがしもべの中に入れ。
- 30.あなたは、わが樂園に入れ。